

平成 20 年度 事業計画書

事務局

○総務部

- ①「岩手県理学療法士会」の手引き発行
：各種規定や改正東北ブロック協議会会則の掲載、各種届出様式の掲載
- ②事務業務手引きの作成（試作）
：本年開催のオリエンテーション内容に関する手引き化と役員配布。
- ③事務業務オリエンテーション開催　：本年未出席者への事務手続きの提示
- ④新規入会手続きの促進　：本年度実績は 100%
手引き送付とオリエンテーションの実施により入会手続きの早期化を継続
- ⑤新人オリエンテーション開催　：第 1 回定期総会以前の開催を実施
- ⑥士会啓発パンフレットの作成　：従来は理学療法（士）啓発目的であったが、会の事業等に関する啓発を目的とするパンフレットの作成により年報と併せ、関係機関へ配布。
- ⑦年報発行
- ⑧派遣対応者リストの拡大　：本年度作成リストの登録者拡大
- ⑨士会備品貸与システムの周知　：本年度作成された貸与システムの会員周知
- ⑩会員福利厚生拡大の拡大　：当士会会員であることのメリットの拡大
- ⑪ブロック活動拡大の援助　：本年度開催のブロック長会議にて審議された名簿提供や体制維持の援助
- ⑫定期総会出席者の拡大へ向けた呼びかけ
：総会開催形態の再考と出席呼びかけの継続
出席者総会員の 50%、委任状提出者非出席者の 60%を目指す。
- ⑬年間スケジュールの広報
- ⑭法人体制に関する調査活動　：公益法人法対策チーム（仮）への援助
情報調査、会員調査
- ⑮名簿管理システムの導入
：煩雑化する名簿管理、タック等の一括処理化を目的としたシステムの導入
- ⑯県会員証の検討　：研修会受付の円滑化の他、会費納入有無、新プロ履修状況等の情報管理を目指し、その可能性の範囲を検討、ワーキングチームの発足
- ⑰定款・各種細則の見直し　：公益法人改革への対応
- ⑱岩手県版「白書」作成の検討　：検討委員会の設置

○財務部

- ①会員証普及促進　：平成 19 年度実績は 64%
普及率 70%を目指す。

②会費納入率の向上 :平成 19 年度会費未納率は 11.4%、5 %台への引き下げを目標。

③事務局移転に伴う什器備品購入費積立

:事務局移転時に付帯する什器備品購入に関する積立

④公益法人改革に伴う財務対応準備 :法人動向に併せた関係規則への対応

財務関係シミュレーション

○士会ニュース編集部

① 士会 HP との連携、あり方の検討

:会員への活動周知とアンケート活動等への機能分化

② 2 色版ニュースの継続発行 :調査活動含む、年 1 回のイベント的位置づけ

③アナログ版士会ニュースの発行 :7・10・2月の発行

④ニュース寄稿者の拡大呼びかけ :広報等による寄稿者を拡大

謝礼実施の啓蒙

⑤ブロック特派員制度の充実 :特派員リストの作成、継続寄稿

⑥デジタル版士会ニュースの継続検討

:アナログ版発行月以外のデジタル版ニュース発行の検討

○IT 管理部

① 士会 HP との連携、あり方の検討

:会員への活動周知とアンケート活動等への機能分化

②各局ページの立ち上げ

②研修会入力フォームの携帯対応検討 :システム構築に係る情報収集と検討

③コンテンツ投稿の呼びかけ :情報提供者の拡大とニュースソースの検討

④メールマガジンの試験運用 :試験的運用による会員意見収集

⑤施設メールアドレス DB 化 :本年度収集の施設アドレスの DB 化により文書送付のペ

ーパーレス化を視野においた検討

○その他

①事務局移転準備 :継続的検討を含む

社会局

○広報部 :理学療法週間、介護予防に関する広報活動

・理学療法週間時施設相談、見学 (各会員協力施設)

・介護予防に関わる広報活動 (ポスター、パンフレットの見直し作成等)

・県民に対する情報公開の検討

:理学療法実施施設、サービス内容等調査 (病院、施設、訪問等)

○業務管理部 :研修会派遣、研修会開催

・業務管理に関しての士会員へ課題調査実施

・研修派遣 :管理運営研修会

・研修会開催 :業務管理研修会

- 地域支援部（訪問・地域支援人材育成）：研修会開催
 - ・研修会開催：訪問理学療法に関わる研修会（11月）
- 協会協力部：協会主催研修会参加協力
 - ・研修派遣：公益事業リーダー研修会等
- 健康福祉部：市町村福祉祭り等への参加
 - ・出張相談・介護予防関連事業（例年：花巻市石鳥谷）
 - ・県内各市町村に対して介護予防事業への要望調査を実施し対応
- 医療保険部・介護保険部
 - ・医療・介護保険の動向把握および情報の提供
 - ・診療・介護報酬改定に伴う現状調査
 - ・会員質問対応は常時実施
 - ・監査対応マニュアルの作成検討
- 研修資料部（各部事業調査資料等収集、保管等）

介護予防事業計画

介護予防啓発のための広報活動

- ・ポスター、パンフレット等の作成および県内施設、各市町村への配布

介護予防キャラバン

- ・盛岡市への対応は常時（1ヶ月前までの申し込みとする）
年間5地区程度を目標
- ・その他市町村は要望調査に基づき対応
計3地区程度を目標

高齢者運動教室

- ・第1クール4月中スタート12～16週毎週土曜日 花巻市内
- ・第2クール8月中スタート12～16週毎週土曜日 地区調整中

介護予防認定士の育成

- ・協会主催研修会への派遣
- ・県内の認定理学療法士による連携推進

介護予防事業リーダーおよびスタッフ育成研修会の開催

- ・年1回開催

学術局

- 1 人材育成システムの機能化を目指した体制づくり
- 2 魅力ある専門領域研究部研修会、岩手県学術集会の企画・運営
- 3 生涯学習プログラムの推進
- 4 研究活動推進のための助成制度の再検討

○専門領域研究部

- 地域ブロックでの研修活動の推進
 - 士会員のニーズ把握のための実態調査（全士会員へ向けてアンケート調査）を実施
 - 各地域ブロックに専門領域研究部員（地域部員）を配置し、地域レベルでの研修会開催を企画
- 部員講師による研修会の開催（骨関節系3回、教育管理系各1回、計4回実施予定）
- 外部講師を招いた研修会開催の企画・運営（5月：神経系、1月：生活環境支援系、3月：内部障害系の3回実施予定）
- 研究開発部の査読事業への支援
- 岩手県理学療法士会研修会への他団体会員の参加機会提供

○研修部

- 第11回 岩手県理学療法士学会の開催
開催地：アイーナホール（いわて県民情報交流センター7階）
日 時：平成20年8月30日、31日
 - 1日目は公開講座を予定。
 - 第11回岩手県理学療法士学会告知ポスターの作製
- 各研修会における準備運営のサポート

○生涯学習部

- 年2回の新人集中研修プログラムの開催
Part1：6月7・8日（岩手リハビリテーション学院）
Part2：9月27・28日（岩手県立磐井病院）
- 新人教育プログラムの読み替え研修会の早期認定
- 生涯学習基礎プログラム履修認定拡大

○研究開発部

- 研究援助事業（電話、メールでの助言・指導）
- 研究助成事業（今年度に助成希望が無ければ次年度は廃止）
- 査読事業（岩手学会集、東北学会）
- 岩手学会賞の選定（学会賞、奨励賞、症例検討賞）
- 出張勉強会事業（要望のあった施設に出向いての研究指導）
- 岩手士会認定座長、査読者育成講習会（教育管理系専門領域部会との合同開催）

○学術資料部

- 会員の学術活動の把握
 - 県士会会員における学術活動実績のデータベース化推進。
 - 協会、各士会主催以外の勉強会、研修会の開催動向や活動内容の把握。
 - 生涯学習基礎プログラム、新人教育プログラム履修促進に関する調査を実施する。
- DVDライブラリの運営・管理

○学術誌部

- 岩手県理学療法士学会誌の発行
- 岩手県理学療法士学会誌刊行のための準備

スポーツ委員会

- ① 高校野球サポート体制の確立とサポート活動に必要な知識と技術の習得

：第 80 回記念選抜高校野球大会におけるメディカルサポートの視察、および視察内容の報告を受けて実施

②「当会における 11 年岩手国体へのサポート参加可否」の検討

③当会サポート体制に関する啓蒙活動